

タバコ売りの少女

ひどく寒い目でした。空からは刺すように冷たい雪が降り、辺りにある光といえは、街灯にともる微弱しい炎だけでした。この寒さと暗さの中、一人の少女が道を歩いておりました。少女は手に、タバコの箱がたくさん入ったバスケットを握りしめておりました。

奥田は、早く帰って温かいものでも飲みたいものだとか路を急いでいました。選挙の準備ですっかり遅くなってしまったのです。手をこすり合わせながら早足で歩いていると、目の前に暗闇から浮かび上がるようにして、赤っぽいボロを着た少女が現れました。うちの娘と同じ年ぐらいだろうか、それにしてもこんな夜中にどうしたのだろう。奥田がいぶかしげに見ていると、少女がすっぴん青くなつてしまった唇を開きました。

「おっちゃん、タバコひとつ、いらない？」

その震える声を聞いた奥田は、小さい頃に読んだマッチ売りの少女を思い出さずにはいられませんでした。女の子は最後、死んでしまふんだっけ・・・。

奥田はバスケットの中を見ると、

「これで全部買えるかな？」

と言って、タバコを全部買つてもおつりが出るほどのお金を少女に渡しました。「今日はもう遅いから、明日お母さんと一緒においしいものでも買いなさい。」

奥田が優しく微笑みかけると、少女は、

「ありがと、おっちゃん！」

と、雪を跳ね飛ばすような笑顔で駆けていきました。いいことしたかな。奥田は心にろうそくが灯ったような気持ちになり、買ったばかりのタバコに火をつけました。とたん、マッチは大爆発を起こし、奥田は死んでしまいました。

「作戦名“マッチ売りの少女”また成功ですね。」

少女が紫色の口紅を塗った口にくわえたタバコに火をつけ、男は言いました。

「ちゃんとゴミ掃除しときなよ。掃除屋らしく、“殺す前より美しく”だ。」

少女はタバコを美味しそうにくゆらせながら男に言いました。

観道山にてグレナデインと共に - Why do you cry, boy? -

紅葉がゆつくりと山を染め歩き、風がその朱色を優しく撫でゆく、秋。ここ観道山でも、たわな実りをつけた木々と、冬に備えてその実りを大事そうに抱え歩く動物たちの姿がよく見受けられるようになってきた。遥かなる年月繰り返されてきた自然の営みは、今年も同じようにこの山に息付いている。きつとこれからもこの風景は変わらないのだろう。

さて、そんな秋のある日のことだった。場所は、観道山とは全く関係のない、いいところ『街路樹が色づいてきたな』程度でしか自然が感じられない、そんな地域。観道山はもうこの際忘れて頂いて構わない。都立の高校で、世界史だらけの一日の授業を終え、せつせと教科書を鞆に詰め込んでいた太郎は、後ろから肩を叩かれ、振り返り——絶句した。

目に飛び込んできたのは、佐藤のニヤケ顔。長いものには巻かれる主義を貫く、良い意味でも悪い意味でもぱつとしない、ありがちな日本人男性。そんな男がアグレッシブに親指を立て、野性味溢れるボックスダンスを踊っていた。啞然とする太郎の前で、彼の口が開かれる。かさかさの唇と眩いばかりの白い歯が、ゆつくりと言葉を紡いだ。

「俺、童話作家になるわ」

太郎には、全く意味がわからなかった。

とりあえず、三十分ほど説得してボックスダンスをやめさせ、その後一時間かけてようやく親指を曲げさせることに成功した。太郎は問う。

「どうやれば、そんなに歯が白くなるの」

三原則はタバコを吸わないことと、歯をちゃんと磨くことと、キッチンハイターらしい。ケータイにメモリながら、太郎は続けざまに問う。聞きたいことは山ほどあった。

「おばあちゃん、元氣？」

元気にパンクバンドのベーシストをやっているらしい。メンバーの平均年齢が七十三歳という驚異のバンドで、オリジナルソングは全部、童話をモチーフにした歌詞だという。

太郎は納得して何度も頷いた。

「ああ、それで……。だから、ボックスダンスなんだね」

それは否定された。ボックスダンスはパンクじゃなくてラヴアンドピースだと熱弁を振るう佐藤。なんか言う度にキッチンハイターが微かに薫る。近くの女子が次々と席を立つ。それでも、佐藤の情熱——パッションは止め処なく溢れ、やがて教室中を満たし始めた。もう少しだ、いける。太郎が確信すると同時に、佐藤は大きく声を張り上げた。

「つまり、ボックスダンスは二十二世紀のニュースタンダードなんだよ！」

一瞬の静寂。佐藤の額にびつしりと浮いた玉汗が、鈍く蛍光灯を反射する。やはり駄目か。太郎が諦め、キスマイントを囁もうとした瞬間——奇跡が、起こった。

「わたし、佐藤君の夢、応援するわ！」

キッチンハイターで真っ先に席を立った女子が、そう叫んで、一心不乱にボックスダンスを踊り始めたのだ。最初は自分の殻に閉じこもっていた他の生徒たちも、慣れない足取りながら、必死でステップを踏みはじめる。

「俺も」「じゃあ俺も俺も!」「ワタシモネ」「Oh! What's happened?」

ダンシング・オペーションはもう学校内に収まらず、世界中に響き渡っていた。

「頑張れよ、童話作家の夢」

太郎が優しく佐藤の肩を叩く。佐藤は零れ落ちる涙を隠そうとせず、太郎に抱き付いた。「そうだね。地球に国境は引かれてないんだよね」

と繰り返す佐藤。うんうん、と頷きながら、太郎は佐藤の髪をゆつくりとカットしていく。佐藤の唇は潤いに満ち、もはやかさかさであるはずなど無かった。

*

『——めでたしめでたし』つと。それじゃねえしよつか。……え、もう一回?』

「童話」本選作品講評

青数字が獲得ポイント数です。

1 無題（春の女の子） 10位 0寸法師

少しずつお約束世界とずれているのが魅力でした。

季節を変える女の子たち……ふつう神様なのに、女の子にしたり。

夏は夕焼け……夕焼けはふつう秋の風物。

続きが気になります。秋の女の子、冬の女の子、ここではどんなふうの世界はめぐってゆくのか。そんな想像を誘う、きれいな表紙作品でした。

2 童話と子供 7位 3寸法師

「ちょっと待て」とお遊戯会の偽善にツッコミ。その一直線の潔さで、教育とは何かという大問題にまでリーチ。すぱりすぱりと、たたみかけてゆく口調が説得力を持って迫ってきます。

できれば、相手の言い分も踏まえ、相手の論拠を突き崩すという方法を取ると、もっと説得的だったのでは。

あと、こうやってすべて改行してしまうと、だらだら書いている印象になって、論旨も読み取りにくいです。主張のまとまりごとに段落にして、「そして」「しかし」と接続詞をきっちり使って段落ごとの関係を明示してほしかった。——と、先週、神風のレイアウトでうならせた作者さんだけに敢えて。

3 自作童話集 桃マン 9位 1寸法師

桃太郎前史。彼の武器は何でしょう？

戦い終わって封印された哀しい戦士、というせっかく作った設定を本編にもっとつなげたい。生まれ変わり後の桃マンが、出生前の記憶をどう引きずって鬼退治に出かけたのか、と。

それにしても桃太郎、シンデレラに次ぐ人気でした。

4 神谷一人のクイズ講義 ～ 童話で始める早押しクイズ 2位 12人のこびと

クイズ研究会で極めていそうな戦略。なるほどね、と大納得しつつ、こうやって出題者の意図を見抜ければ、中間・期末もコワくない!? **がんばれ東工大クイズ研究会、ただいま部員募集中**

イチオシフレーズ：「貴方の思考の翼に栄光あれ」

5 ピノキヲたん 1位 14匹のこぶた

TA良識派（約2名）の抵抗も空しく本選入り!?

序盤の「その歳でこの趣味なの」のインパクトで、すべてさらって行ってくれます。ツンデレにナパームキャノンと二次元ドラマで楽しませていただきました。末永くお幸せに。クイズを振り切ったの首位、おめでとう!!!

イチオシフレーズ：「構想二年は伊達じゃありません」「めでたしめでたし」

6 シンデレラはポストモダンの夢を見る

か？ 5位 5寸法師

むずいです。いっしょうけんめい読みました。ただ、神が作り出した箱庭世界、とコンセプトはシンプルなので、むずい装飾語を切り落としつつ読めば、そう手こずりはしませんでした。

ラストの問いかけは、意表を衝いていきなり読者を作中に引きずり込む、なかなかの戦法。

イチオシフレーズ：「オカルトでオカルトでオカルトでオカルトで……」×2 「矛盾論理」で、わけわからんユニークさがウケてイチオシフレーズ大賞ゲットです。好き放題やれて、おめでとう。

7 ウサギとカメ 青春編 6位 4寸法師

対照的なふたりの生き方がフィールドで交錯する。スポーツのさわやかさ全開。

ただ、カナメとなる「僕たちは同着一位だ」の背景説明をもう少し手あつくしたかった。彼がいたから僕がある、ということだろうな、とは思いますが。

8 くまの むらこ 3位 7人のこびと

よかったね、むらこ（こらむ）と、しあわせに読み終わられます。

みごとに絵本仕様の仕上がりが素晴らしかったです。

言葉づかい、単語の分かち書きや「おおきな おおきな」のようなリフレインの響かせ方、とんとんと積み上げて、そのあと波乱が生じて、という王道のストーリー展開……パーフェクトでした。荒れ模様のランキングのなか、とても価値あるベスト3入りだと思います。

9 改版 3位 7人のこびと

出たな、ウンチクコラムニスト。

一筋縄では行かないグリム童話の成立を懇切に解きほぐして、とても勉強になりました。

ただの知識披露に終わらず、「すっぱり解決できてしまうのも面白くない」と、ものごとの根っこを掘り返すことの意義に言及したラストのスタンスに大共感します。荒れ模様のランキングのなか（以下同文）。

10 コン太くんとピョン子ちゃん 8位 2寸法師

さいごの「肉筆」がインパクト巨大です、ホッホー。
コン太くんのお母さんが真相は、どこまで知ってたのかなあ。
イチオシフレーズ：「こたえ：おにく」×2

惜しい1 タバコ売りの少女

ブラックですね～。ただホッホーより、あとあじ悪いのは、奥田氏が無辜の民に見えること。
「選挙の準備」から展開して悪徳政治家にでもしておいたら、吹っ飛ばして読者も快感!?
ときに「マッチ」は、どこから登場したのでしょうか。

惜しい2 観道山にてグレナディーンと共に - Why do you cry,boy?-

風邪熱テンションで突っ走った意欲作。
こういうナンセンスものにツジツマを求めても、とは思いますが、でも授業を終えて1時間半経過して、何で生徒たちがまだ教室にいるのか、などもう少し まとまり があったほうが良かった気が。夢の中のようなふわふわ感を演出したかったのでしょうか。

祝 今週の受賞作品

班名	賞タイトル	作品番号
Andersen	イタすぎてこっちがHPを7000ほど削られたで賞	5
Bremen	おじさんこれって絶対ダイイングメッセージで賞	8
Cinderella	いいかげんにしま賞	5
D	しょうが無いで賞	なし
Endless Waltz	東方永夜賞	3
F C S	ブラックユーモア賞	10

Grim	食べすぎで賞	1 0
Happy Set	大誤解綾田賞	3
I'll be back	俺には書けない賞	6
JA班°	HP7000で賞	5